

2003年12月15日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表社名 代表取締役社長 鈴木 弘治  
 コード番号 8233

## 2003年11月度 高島屋営業報告

百貨店事業概況 本年 -3.8 実質 -2.8

\*実質とは、米子店を含む18店舗対比

月前半の暖冬の影響で、冬物衣料が低迷し全体を押し下げた。月後半、カード会員向け催しなどの売上対策を実施したが、月末の降雨により入店客数が伸びず、最終的には -2.8%と前年実績を下回った。

店舗別概況 (前年比%)							関西計		
関西	大阪店	京都店	泉北店	岡山店	岐阜店	米子店	本年	実質	
売上	1.9	-1.4	-0.7	-0.1	-4.1	-8.0	-2.7	-0.1	
入店客数	5.2	-0.4	0.3	0.4	-5.2	-9.2			
関東	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎店	関東計
売上	-6.2	-3.7	-1.0	4.5	-5.3	-2.8	-17.4	-1.0	-4.5
入店客数	-7.9	-3.6	-3.6	13.2	-4.4	-0.9	1.8	-4.3	

### <店舗>

店舗別では、お歳暮の「早期割引」が奏効した関西が全体のマイナスを若干取戻した。大阪店では食料品が+12%と数字を伸ばし好調だった。一方、関東は全体的に低迷し、11月1日にリニューアルオープンした玉川店のみ好調で、食料品(+30%)や特選品(+20%)を中心に売上を伸ばした。

広域事業概況	法人	通販	広域計
	16.3	-16.9	-1.3

### <広域事業>

法人事業は、大口物件の受注があり前年を上回った。一方、通信販売事業は、カタログ「年末号」の防寒関連の重衣料や暖房関連商品が低迷し前年を下回った。

総計	本年	実質
	-3.6	-2.7

商品別概況(百貨店協会商品区分)								
	本年	実質		本年	実質		本年	実質
紳士服・用品	-7.9	-7.1	身のまわり品	-0.6	-0.3	食料品	3.5	4.5
婦人服・用品	-15.4	-14.1				食堂・喫茶	-4.4	-2.1
子供服・用品	-4.8	-3.8	家具	0.5	1.0	雑貨	-9.8	-8.9
その他衣料品	-12.1	-11.2	家電	-31.4	-30.0	サービス	0.2	1.5
衣料品計	-7.3	-6.2	その他	0.8	1.7	その他	15.8	17.1
			家庭用品計	-1.6	-0.8	合計	-3.6	-2.7

### <DV(デヴィジョン)別>

DV別では、婦人服(-7.4%)、紳士服(-6.1%)、ベビ・子供(-3.9%)など衣料品を中心に低迷、また、婦人雑貨(-0.4%)も、ハンドバッグ(+8.4%)やアクセサリ(+8.2%)などの動きはあったが、僅かに前年に及ばなかった。一方、お歳暮の早期受注が進み、食料品(3.9%)は前年を上回った。